



# 八重の汐

校訓  
至誠 錬磨 創造

今年度第三号の「八重の汐」は、六月の高田高校の様子をお伝えします。

## ノーマライゼーション体験

三日（水）、二学年の総合的な探究の時間で、（株）ヘラルポニーの方を講師にお迎えして、障がいのある状況を体験するワークショップが行われました。「見えない」「聞こえない」「話せない」又はこれらの複合状況を設定して、意思疎通を図る体験を行い、他者の立場を慮る姿勢が大事であることを学びました。

陸前高田市は、震災からの復興にあたって、「ノーマライゼーション」という言葉の知らないまちづくりを掲げています。今回体験したことを、地域課題解決のためのビジネスプラン作成にいかし、誰もが安心して暮らせる社会の実現に貢献していきます。



意思の疎通に悪戦苦闘しました。

## 復興教育講演会

三日（水）、全校生徒を対象に、本校卒業生である（株）ヘラルポニーの丹野晋太郎氏を講師にお迎えして、復興教育講演会が行われました。

震災時に中学校三年生だった丹野氏は、かつては「地元のために何かをやりたいけれども、うまく言語化できない状態」だったといいます。今は「地域の価値を伝える仕事」に邁進しています。



「後輩」に想いを伝える丹野氏。

陸前高田市には、どこにいても、故郷に関心と愛着を持ち続ける人を指す、「陸前高田思民」という言葉があります。丹野氏からは後輩たちに対して、「すぐに地域に貢献することか言わないで、やりたいことにどんどん挑戦して欲しい」と「エール」が送られました。今後の在り方・生き方について考える、貴重な機会となりました。

## 盛り上がった体育祭

十七日（水）からの二日間、生徒が楽しみにしていた体育祭が行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は競技内容を変更し、ネットを挟んで対戦する競技や、密集と中心に競技が行われました。

二日間とも好天に恵まれ、今春整備が完了した第一グラウンドなどを会場に、生徒のいきいきとした姿が見られました。



「綱引き」から競技開始！



300mトラックでリレー！

## 三学年 明るく選挙啓発授業

二十四日（水）、三学年を対象に、県と市の選挙管理委員会から講師の先生をお招きして、「明るく選挙啓発授業」が行われました。

講義を通して、選挙の仕組みや若年層の低投票率が問題となっていることなどについて理解を深めた後、学年団の先生方が衆院選の立候補者として演説を行い、それぞれの公約を判断して、模擬投票を行いました。



三学年は現時点で、卒業までの間に予定されている国政選挙等はありませんが、一八歳になった生徒には選挙権があります。今回の授業は、「主権者」としての意識を高める良い機会になりました。

## コロナ収束に向けてのメッセージ

陸前高田青年会議所が主催した「願い・希望・エールを届けよう」という取り組みに二学年が参加し、「コロナ収束に向けてのメッセージ」や「コロナが収束したらやりたいこと」などを発信しました。医療関係者の皆さんへの感謝の言葉や、十一月末に予定されている修学旅行に対する思いなどが語られています。青年会議所のフェイスブックに掲載されていますので、是非ご覧ください。



昨年度から『海洋システム科通信』が毎月発行されています。高田高校のホームページに掲載していますし、陸前高田市のホームページの「産業」からも閲覧することができます。そちらも合わせて、是非ご覧ください！